

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | シリウス神戸 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 6日 | | 2026年 1月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 24名 | (回答者数) 18名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 2月 2日 | | 2026年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 24日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 学校や学年 障害種別の違う子ども達が遊びの中で協力ができること | 子ども同士で遊びや制作などでは手伝う姿が見られます | 様々な場面で子ども同士の関われるプログラムを作る 行事はマンネリ化しないようにする |
| 2 | 個々に合わせた支援(着脱・食事・排泄)できる動作を増やす | 身辺自立や学習プリントではできる動作を増やせるように個別に職員が1対1で対応をしている | スモールステップから本人様のペースでできたことで達成感を得る |
| 3 | 職員間の情報を共有 | 日々の送迎時保護者の困りごとや利用者の困りごとはその日のうちに職員に伝える 月1回以上ミーティングを行い情報を共有しています | 外部研修・内部研修に参加してキルアップできるようにする |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 小学1年生のお子様が高校3年生になり必要なスペースはありますが子どもが成長し居室が手狭に感じる | 遊べるスペース・学習をするスペース来所する子どもで日々居室のレイアウトをしています | おもちゃ・絵本・製作道具など職員・子どもが片付けられるようにしています |
| 2 | 個室スペースがないのでパニック状態になった時落ち着く場所がない | おむつ交換・着替えするところはカーテンで仕切りをしています。時としては落ち着かせる場所としても使用しています。 | よく使用する場所なので 常に清潔な状態を保っています |
| 3 | 家族支援プログラム 保護者同士の交流会情報交換 | 家族プログラム 保護者同士の交流会はおこなっていません | 職員が研修をうけスキルを持ってもらう 交流会においては希望が多い要でしたら開催を検討します。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 シリウス神戸

公表日 2026年 3月 24日

利用児童数 24名

回収数 18名

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|--------------------------------------|--------|---|---------------|-----|-------|-----|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 12名 | 6名 | | | 活動スペースは基準を確保しています。 子どもの成長もあり手狭に感じる。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 17名 | | | 1名 | 子ども2.0人に職員1人配置しています。 遠足時は1.0人から1.5人の配置で安全に 配慮しています。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 18名 | | | | 入り口前の段差 | 玄関前の段差は私道な為スロープがつけ ません車椅子使用の利用者様はその都度 2人で安全に移動をしています。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 18名 | | | | | 活動前 活動後は必ず職員が居室の清 掃・消毒・換気を行っています |
| 適切 な支 援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 4名 | 6名 | 1名 | 7名 | | 今年度は近隣地域の事業所の主催バザー に遊びに行きました。今後も機会があれば 参加したいです |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 10名 | 3名 | 1名 | 4名 | | 家族支援はしていませんが日々送迎時 にお話を聞きに職員には情報を共有してい ます |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 18名 | | | | | 半年に1回面談を行っています。面談以 外でも気になる事はお話を聞いて対応が できるようにしています |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 0名 | 4名 | 4名 | 10名 | | 希望される保護者様が多いようでしたら 検討します |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 15名 | 3名 | | | | 面談以外でも相談に応じています |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 18名 | | | | | 今後も継続していきます |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 18名 | | | | 毎月配布の行事予定やシリウス便りは様 子がわかるので楽しみにしています | 個人情報には配慮しています。配布を楽 しみにして頂いているので今後も継続し ていきます。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|-----|--|--|----|---|
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 18名 | | | | 個人情報の取扱いは同意書をいただいております。個人情報のファイルは鍵のついた棚に保管しております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 17名 | | | 1名 | 職員には研修を毎年行っています。訓練は事前に保護者様に連絡して実施後はお便りで報告しています |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 17名 | | | 1名 | 年1回以上地震・水害実施 備蓄の見直し報告の提出はをしています |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 17名 | | | 1名 | 安全計画研修は職員全員受けています。今後はお便りを通して保護者様に伝えるようにします。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 18名 | | | | お怪我があればすぐに保護者様に報告させて頂き会社に報告を入れています |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 18名 | | | | 毎月記録以外でも送迎時に様子をお伝えしております。子どもたちが来所を楽しみに笑顔で来所されるお子様が多いのは嬉しいです。過ごし方においてはマナーにならないようにしていきます。ご不明な点がございましたらお声をかけて頂ければ対応させていただきます。今後も喜んでもらえる活動をスタッフ一同協力して参ります |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 18名 | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 18名 | | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | シリウス神戸 | | 公表日 | | | 2026年3月24日 | | |
|----------|----|--|----|-----|--|-------------------------------------|------------|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4名 | 4名 | 狭いなりに工夫しているおもちゃなどを整理してスペースを確保しています。 | 今後も継続していきます | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6名 | 2名 | 基準人員は配置しています | 重心児童が多い時は手がいっぱいな事がある 今後も継続していきます | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8名 | | 玄関前の段差は安全に気を付けて車椅子の移動を行います。 | 今後も継続していきます | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 8名 | | 支援前・支援後には居室の清掃・換気・消毒を行っています | 今後も継続していきます | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3名 | 5名 | カーテンで仕切って一人の空間をつくれるようにしています | 個室はないが今後もクールダウンができる環境は工夫して行きます | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 8名 | | 毎月一回ミーティングを開催しています | 今後も継続していきます | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8名 | | ミーティングを毎月行っています 日頃からコミュニケーションとして生まれている | 今後も継続していきます | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 8名 | | 第3者評価は行っていません | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 8名 | | 職員が興味ある研修は日頃から話を聞きスキルアップできるように研修情報を収集しています | 今後も継続していきます | | | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7名 | | | 今後も継続していきます | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7名 | | 面談を通して保護者・職員意見も取り入れて作成しています | 今後も継続していきます | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7名 | | | 今後も継続していきます | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7名 | | 毎月のミーティングでお伝えしています | 今後も継続していきます | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7名 | | 面談を年2回定期的に行っています | 今後も継続していきます | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6名 | 1名 | 担当者会議やミーティングで話し合いができています R.8.3月からより充実した活動プログラムを実施します。 | 今後も継続していきます | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6名 | 1名 | 担当者会議やミーティングで話し合いができています R.8.3月からより充実した活動プログラムを実施します。 | 今後も継続していきます | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 8名 | | 日々の会話の話し合いができています | 今後も継続していきます | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6名 | 1名 | 日々の会話の話し合いができています 時間がある時は情報は可能な限り共有している | 開始前終了後は勤務形態が違い振り返りなどがむずかしい | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|----|----|--|--|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7名 | 1名 | 日々の会話の話し合いができていて、時間がある時は情報は可能な限り共有している | 開始前終了後は勤務形態が違い振り返りなどがむずかしい |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7名 | | 記録の担当は毎日決めています | 今後も継続していきます |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7名 | | 年2回以上面談を実施しています | 今後も継続していきます |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | 7名 | | | 今後も継続していきます |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 8名 | | 自由な時間を使って何がしたいかを聞いています。 2択の選択見方・手が出た方を意志としています | 今後も継続していきます |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7名 | | | 今後も継続していきます |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 7名 | | 入院などで身体の状態に変化があった場合は入院中の様子を主治医に聞き保護者・学校・関係機関と連携を取り情報を共有しています | 今後も継続していきます |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 8名 | | 変更があった場合は保護者様から連絡をいただいています | 今後も継続していきます |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 5名 | 2名 | 研修参加から関係機関との情報を共有しています | 今後も継続していきます |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6名 | 1名 | 卒業前に進路先の職員に保護者様の許可を取り情報提供をしています。 | 今後も継続していきます |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 5名 | 2名 | | 今後の課題とします |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 5名 | 3名 | | 今後の課題とします |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 5名 | 2名 | 参加可能な研修には職員で参加しました | 今後も継続していきます |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 8名 | | 療育センターでの様子は送迎時に聞いて職員に共有しています | 今後も継続していきます |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4名 | 4名 | | 今後必要であれば検討していきます |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7名 | | 契約時に説明しています | 今後も継続していきます |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7名 | | | 今後も継続していきます |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 8名 | | 自宅送迎時などで連絡ノート以外でもお話をしています。お母さんの困りごとを聞けば職員にその日のうちに情報は共有できています | 小さな事もお話ができるような関係を作っていきたい |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | 8名 | | 保護者様の意見で交流会の希望があれば検討したいです 感染予防が万全であれば行えたら良い |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7名 | 1名 | 毎月行事カレンダーお便りで配布 | HPを新調し今後は今より活用予定 今後も継続していきます |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます |

| | | | | | | |
|---------|----|--|----|----|--|-------------------------------------|
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3名 | 4名 | 地域行事には積極的に参加したい | 今後も継続していきます |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 8名 | | | 今後も継続していきます |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 8名 | | 服薬が必要なお子様においては事前に飲ませ方扱い方を聞いています。服薬については時間・様子は連絡帳を通して行っています | 今後も継続していきます |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5名 | | 現在アレルギーのお子様はいませんが契約時には必ず聞き取りをしています 必要な対応は共有できています | 今後も継続していきます |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 8名 | | | 現在アレルギーのお子様はいませんが契約時には必ず聞き取りをしています |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 8名 | | 年1回社内研修で安全計画実施 新入社員の入社時に必ず就業前研修として実施 記録を提出後業務に入っています。 | 今後も継続していきます お便り等で研修内容を保護者にお伝えします |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 8名 | | 職員間ですぐに情報を共有しています | 今後も継続していきます |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 8名 | | 年1回社内研修で虐待研修・身体拘束研修の実施 新入社員の入社時に必ず就業前研修として実施 記録を提出後業務に入っています | 今後も継続していきます |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7名 | | 移動・食事時に車椅子を使用する場合は身体拘束に係る同意書を作成しています。個別支援計画・アセスメントにも記載をしております | 今後も継続していきます |